

今週から全て電子入札

九州地方整備局記者会見



記者会見する渡辺局長

国土交通省九州地方整備局は23日、電子入札の全面的な運用開始と、14年度における元請下請取引の適正化等について会見を開いた。うち、電子入札に関しては新システムへの移行準備期間を終え、建設工事及び建設コンサルタント業務等の随意契約を含む全発注方式で今週から実施する。

コスト縮減や透明性向上へ

国土交通省九州地方整備局は23日、電子入札の全面的な運用開始と、14年度における元請下請取引の適正化等について会見を開いた。うち、電子入札に関しては新システムへの移行準備期間を終え、建設工事及び建設コンサルタント業務等の随意契約を含む全発注方式で今週から実施する。

入札で入札参加者が一堂に集まり実施していた入札をインターネット上で行うことで交通費や人件費の削減、コストの縮減などが図れるほか、入札手続きの事務負担の軽減や処理期間の短縮など柔軟な入札参加を可能にし、入札の透明性の向上などにつながる。また、当面は紙による提出も受け付ける」とした。

同調査は、対象業者に14年度に下請契約を締結した工事2件を抽出し、それぞれの工事に係る下請契約各3件について見直し、契約、支払等の実態を契約書類の確認等により調査(1業者につき6件の下請契約を調査)。指摘事項の

文書による勧告も

・請書の交換のみで契約締結がされているもの④引渡しの申し出後50日以内に請負代金が支払われていないもの⑤請負代金を全額手形で支払っているものなど。

元下取引調査、197業者を指導

このほか、九州・新長州の概ね10年から15年後の将来像を展望し審議、15年4月に中間とりまとめを行った。15年度の取り組みでは多自然居住地域を対象にケーススタディを行うほか、景観関係指標の長期動向では高速道路(大型車)、都市高速(同)の交通量や、空港の国内貨物取扱量などから分析、この三つが景気(2、3月、6月)に先行することを明らかにした。

土工協

自治体のCALS/EC取組状況

今年度 13県市で実証実験

日本土木工業協会(土工協、梅田貞夫会長)は、昨年末時点の地方自治体のCALS/EC(公共事業支援統合情報システム)の取組状況を発表した。電子入札を見る、14年度中に岐阜県と岡山県で導入したほか7県市で実証実験を実施。

15年度に東京都と大阪府が導入するほか、13県市で実証実験を新たに開始する計画だ。全ての都道府県、政令指定都市、中核市の計87自治体を対象に調査。全都道府県と、千葉、北九州を除く政令指定都市、長野、浜松、高知、熊本、鹿児島を除く中核市から回答を得た。

自治体ごとの情報化行動計画であるアクションプログラムは、15年度までに8割の県、4割の政令市、2割の中核市で策定予定。県内自治体の情報共有・効率化、情報化コストの削減・規格の標準化などを目的とした県単位の推進協議会は、既に6割で発足済み。

国土交通省が示したCALS/EC地方展開アクションプログラムの目標(都道府県・政令市は15年度までに電子入札開始、15年度中に岐阜県と岡山県で導入、15年度に東京都と大阪府で導入、岩手、茨城、千葉、新潟、富山、石川、

大阪、兵庫、鳥取、佐賀の各県と、川崎市、宇都宮市、福山市で実証実験を行う。16年度には8県、4市で実証実験を行うなど、順次取り組みが進んでいくが、実施時期が未定の自治体も4割ある。入札システムについては、東京都と岡山県、横須賀市で、国土交通省のシステムを基にした汎用的な「コアシステム」ではなく、独自のシステムを採用。調査時点では明らかになっていなかったが、埼玉県でも独自システムを検討。コアシステムの採用を明示しているのは栃木、岐阜、三重の3県で、13自治体でも採用を検討している。

工事関係の電子納品は、14年度に栃木県と東京都で一部運用。秋田、茨城、新潟、石川、福井、山梨、長野、三重、滋賀、愛媛、高知の各県と堺市、長崎年度は大阪府で本運用するほか、岩手、宮城、埼玉、千葉、富山、京都、島根の各県と、横浜市が実証実験する計画。16年度は岐阜県で本運用、福岡県と沖縄県で一部運用、神戸と金沢市で実証実験を開始する。

このうち、国土交通省の納品要領案に完全に準拠するのは栃木、山梨、滋賀、京都、岡山、沖縄の6県。

明日に駆ける



白石 卓三さん

鹿児島営業所長

同社はクレーンのリース業や作業を中心に、トラック・重機・塵芥収集・建設廃材のリサイクルプラント等を通じて「お客様第一」をモットーに地域社会に

「甘えさせられていた。今の自分ではなかった」とも。鹿児島営業所には12年に着任し、見知らぬ土地で地図を広げては、隔々まで駆け回った。13年8月に所長に就任してからも「使ってみれば良さが分かる」と本社のある川内市を中心に営業に奔走。「建設業は奥が深く、まだまだ未熟な部分も多い。やり甲斐を感じ、毎日

信用・信頼される事業展開

平成11年に入社後、本社のある川内市を中心に営業に奔走。「建設業は奥が深く、まだまだ未熟な部分も多い。やり甲斐を感じ、毎日

24時間

迅速な作業と適正価格でまごころサービス

エレベーター・エスカレーター
立体駐車場全般

保守点検専門

マーキュリーアセンソーレ(株)

本社 鹿児島市下荒田1-20-6
TEL (099) 257-9113
FAX (099) 251-9418

支社 鹿児島・福岡・東京